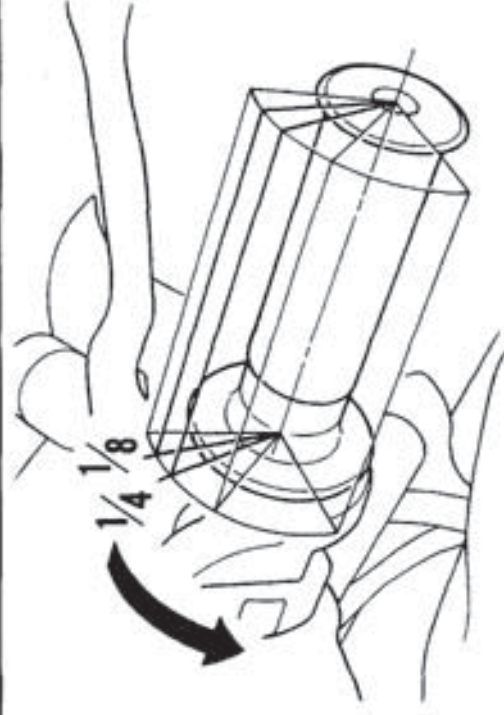


- エンジンが暖まっているとき
 - 1. エンジンストップスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
 - 2. 燃料コックレバーが“ON”になっていることを確認します。
 - 3. メインスイッチを“ON”にします。
 - 4. チェンジをニュートラルにします。
(車体を前後に動かしてニュートラルであることを確認してください。)
 - 5. スロットルグリップを1/8～1/4回し、力強くキックします。
 - 6. サイドスタンドが確実に格納してあることを確認してからスタートしてください。
- ※この車には、サイドスタンドを出したままチエンジを入れると、自動的にエンジンが停止するイグニッションカットオフ式サイドスタンドを採用しています。スタートする前に、必ずサイドスタンドを格納してください。
- エンジンがかからないときは、75 ページ記載の要領で確認してください。



注意

- チェンジが入った状態で、クラッチを切らないでキックすると、飛び出しや転倒することがあります。必ずニュートラルを確認するか又はクラッチを切ってから始動してください。
- 無用の空ふかしはしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンに悪影響を与えます。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。